

新たな基本計画に基づく 政策評価制度の見直し



◆政策評価の目的

市政運営の中長期的な方針である「千葉市基本計画」に掲げるまちづくりを計画的に推進するため、計画事業の進捗等を踏まえた指標の分析・考察を行い、行政課題を抽出することにより、行政活動の改善につなげるとともに、次期基本計画や実施計画の策定などに活用することを目的とする。



現行の政策評価制度は平成30年度に大幅な見直しを行い、①行政活動実績評価（客観指標による評価）、②アンケート指標の分析・考察（市民実感等による評価）、③客観・市民実感による総合評価の3STEPで実施する。

段階	実施方法	実施部署
STEP 1 行政活動実績評価	客観指標（基本目標・KPI）の達成状況を把握するとともに、計画事業の進捗状況や外部要因と関連付けた分析・考察を行う。 ※基本目標・KPIについては、次ページ参照	第1段階：所管局 第2段階：総合政策局
STEP 2 アンケート指標の分析・考察	市民アンケートにより、実感及び活動の状況について、理由を含め把握し、分析・考察を行う。	総合政策局
STEP 3 政策評価	行政活動実績評価及び市民アンケート結果を踏まえ、生活実感指標・行動指標・客観指標を関連付けて、総合的に分析・考察を行う。 また、分析・考察から得られる市の取組みの課題を抽出する。	総合政策局

(参考) 基本目標・K P I について

◆基本目標・K P I とは

	基本目標 (40指標)	K P I (149指標)
目的	政策単位の目標設定及び事業の達成状況の定量的評価	基本目標の達成に向けた施策の進捗管理
設定単位	政策ごとに1～4指標	施策ごとに1～5指標
評価時期	・原則3年毎(政策評価) ※進捗管理は毎年実施	・毎年(進捗管理)
整合性を図るもの	・分野目標、政策 ・K P I	・基本目標 ・計画事業

◆基本目標・K P I と計画事業の関係 (イメージ)



◆見直しの趣旨

現行の政策評価制度は、「千葉市新基本計画（H24～R3）」（以下、旧計画）の体系に基づく評価となっているため、令和5年度から開始した「千葉市基本計画（R5～R14）」（以下、新計画）の体系に基づく評価へと見直しを行う。

加えて、旧計画の政策評価に関する千葉市新基本計画審議会からの答申（R5.3.10付け）への対応を行う。

なお、今回の見直しは新計画の体系に対応した見直しを図るものであり、政策評価の手法（客観指標及び市民実感に基づく評価）は変更しない予定。

千葉市新基本計画審議会からの答申のうち、政策評価制度に対する意見と意見への対応案は以下のとおり

- 政策の評価にあたっては、企業・団体等、市と連携して事業を行う主体による評価も踏まえること。
→事業の担い手側の意見を踏まえ、行政活動実績評価を実施。
- 客観指標については、市民に分かりやすい指標名称となるよう検討するとともに、目標値の考え方や評価を明示すること。
→客観指標及び名称は第1次実施計画(R5~R7)と同じとし、考え方等を分かりやすく記載。
- 地域防災活動の質的な評価にあたり、避難所運営委員会の女性委員率、防災ライセンス講座の受講者数などの指標の導入について検討すること。
→第1次実施計画におけるKPIとして導入済み。
- 都市の魅力を高めるため、まちにおける市民等の過ごし方にかかる分析・評価の手法について検討すること。
→人流データを踏まえ、行政活動実績評価を実施。

見直しポイント（行政活動実績評価）

- 評価単位を19の施策の柱から23の政策単位とする。
- 客観指標を第1次実施計画(R5~R7)で定めた基本目標及びKPIとする。
指標数：136指標 → 189指標（基本目標40指標、KPI149指標）
- 以下の事項を踏まえて行政活動実績評価を実施
 - ・ 実施事業の担い手側の意見
 - ・ イベントなどにおける市民の滞在状況（人流データ）

◆新旧計画の体系

旧計画：5つの方向性、19の施策の柱

新計画：まちづくりの総合8分野、23の政策

施策体系



第6章

まちづくりの総合8分野

まちづくりの基本方針に沿った政策に取り組む8分野を「まちづくりの総合8分野」として整理し、それぞれの分野目標を設定するとともに、分野間の連携を図りながら、総合かつ計画的なまちづくりを推進します。

まちづくりの総合8分野における政策体系

1 環境・自然		気候変動に対応し、豊かな自然と共生する持続可能なまちを実現します
政策1	自然環境などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る	政策1 地球温暖化対策の推進 政策2 自然環境・生活環境の保全 政策3 環境負荷に配慮したごみの処理と資源循環
政策2	緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る	政策4 緑と水辺の活用と保全 政策5 緑の保全と創出 政策6 水辺環境の保全と活用
2 安全・安心		災害・安心に備えやすくなるまちを実現します
政策1	災害に強いまちの基盤を整備する	政策1 風水害対策の推進 政策2 地震等に対応した生活インフラの適切な整備・管理 政策3 災害対応体制の強化
政策2	多様な主体の連携による防災力を高める	政策4 防災意識の醸成と地域防災力の向上 政策5 防災力の充実・強化 政策6 危機管理への対応強化
政策3	消防・緊急体制を充実・強化する	政策7 消防力の確保 政策8 火災予防の推進 政策9 消防団の育成
政策4	安全・安心な市民生活を守る	政策10 交通安全の確保 政策11 消費生活の安定・向上 政策12 消費生活の安定・向上
3 健康・福祉		みんながいきいきと、健やかに暮らせるまちを実現します
政策1	健やかに暮らせる社会を創る	政策1 健康づくりの促進 政策2 医療提供体制の充実 政策3 安全・安心な生活衛生環境の整備
政策2	高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る	政策4 生きがいづくりと社会参加の促進 政策5 地域で安心して暮らせる環境の整備 政策6 認知症と共生できる社会の構築 政策7 介護保険サービス提供体制の整備
政策3	障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る	政策8 障害のある方への理解促進と社会参加の促進 政策9 地域で自立して暮らせる環境の整備 政策10 障害のある子どもとその家庭への支那の実施 政策11 心の健康づくりへの取組・支援体制の充実
政策4	住み手ひとりの暮らしとつながり、相乗効果を生み出す社会をつくる	政策12 子どもと支えあふれる地域づくりの推進 政策13 包括的な支援体制の構築

4 子ども・教育		夢思いやり心を持ち、未来を拓く子どもたちが育つまちを実現します
政策1	子どもを産み、育てやすい環境を創る	政策1 妊娠前から子育て期までの支那の充実 政策2 子育てしやすい保育環境の充実 政策3 困難な状況にある子どもや家庭への支那の充実 政策4 児童虐待防止対策の強化 政策5 障害のある子どもとその家庭への支那の充実（両側）
政策2	自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	政策6 未来につながる学びの充実 政策7 学びを支える教育環境の充実 政策8 学校外活動の充実 政策9 放課後の子どもとの過ごしと多様な体験・活動の充実 政策10 子ども・子育てが社会で支え、行動する力の育成
5 地域社会		多様性に富み、みんなでまちづくりを進める地域社会を実現します
政策1	誰もが個性を活かし活躍できる環境を創る	政策1 多様な主体の活躍によるまちづくりの推進 政策2 多文化共生社会の構築 政策3 多文化共生社会の構築
政策2	多様な主体の連携によるまちづくりを進める	政策4 持続可能な市民主体のまちづくりの推進 政策5 生涯学習を通じた地域活動の推進
6 文化芸術・スポーツ		市民の文化芸術、スポーツ活動の広がり、創造性を高めるまちを実現します
政策1	文化芸術が生まれ、広がる環境を創る	政策1 文化芸術活動の創出と支援 政策2 文化財の保全・活用 政策3 市民文化センターの活用・整備 政策4 スポーツを通じた地域活性化
政策2	スポーツに関し活躍を創る	政策5 スポーツを通じた地域活性化 政策6 スポーツを通じた地域活性化
7 都市・交通		市民の生活に寄り添った良質な交通を支え、魅力と豊かさが感じられる都市を実現します
政策1	持続可能なまちづくりを進める	政策1 美しい心街とまちづくりの推進 政策2 3都心などの魅力向上 政策3 地域経済の発展・活用 政策4 広域連携の推進
政策2	都市の力を活かすネットワークを構築する	政策5 持続可能な交通ネットワークの形成 政策6 道路ネットワークの形成 政策7 安全・安心な移動環境の整備
政策3	まちの発展にテクノロジーを活かす	政策8 スマートシティの推進 政策9 都市の発展を支える社会基盤の強化 政策10 住環境・生活環境の充実
政策4	暮らしを支える環境を創る	政策11 持続可能な上下水道事業の推進 政策12 持続可能な上下水道事業の推進
8 地域経済		地域経済を支える産業や人材が育ち、新たな価値が生まれるまちを実現します
政策1	地域の産業を充実・育てる	政策1 地域経済の新たな担い手の創出 政策2 持続可能な地域経済の確立に向けた競争力強化 政策3 産業の活性化 政策4 産業の活性化
政策2	観光の振興とMICEの推進によりまちの魅力を高める	政策5 観光資源の活用向上 政策6 MICEの推進 政策7 観光の振興
政策3	農林業の持続的な発展を支える	政策8 農産物の生産・加工・流通 政策9 農と食の連携による多様な価値の創出と推進 政策10 農と食の連携による多様な価値の創出と推進

政策評価の見直しポイント（アンケート指標）

- 「生活実感指標」及び「行動指標」を23の政策に振り分ける。
- アンケート項目（生活実感指標）に市内でのデジタルの活用に関する設問を追加。

◆政策とアンケート指標の関連

まちづくりの総合8分野

対応する市民アンケート項目（令和3年実施）

まちづくりの総合8分野	対応する市民アンケート項目（令和3年実施）
1 環境・自然 気候変動に対応し、豊かな自然と共生する持続可能なまちを実現します	
政策1 脱炭素化を推進し、持続可能な社会を創る	市内で市民、企業、団体、行政が環境に配慮していると感じますか
政策2 緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る	市内の水辺が魅力的だと感じますか 市内の緑が豊かだと感じますか
2 安全・安心 災害など様々なリスクに対応し、安全・安心に暮らせるまちを実現します	
政策1 災害に強いまちの基盤を整備する	
政策2 多様な主体の連携による防災力を高める	地震や風水害等の災害など、さまざまなリスクに対応した、安全・安心への備えが市内にあると感じますか
政策3 消防・救急体制を充実・強化する	
政策4 安全・安心な市民生活を守る	市内に市民が健康に暮らせる環境があると感じますか 地震や風水害等の災害など、さまざまなリスクに対応した、安全・安心への備えが市内にあると感じますか
3 健康・福祉 みんながいきいきと、健やかに安心して暮らせるまちを実現します	
政策1 健やかに暮らせる社会を創る	市内に市民が健康に暮らせる環境があると感じますか
政策2 高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る	市内に高齢者が生きがいや役割を持ち、安心して暮らすことができる環境があると感じますか
政策3 障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る	市内に障害のある人が暮らしやすい環境があると感じますか
政策4 住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会をつくる	市内に高齢者が生きがいや役割を持ち、安心して暮らすことができる環境があると感じますか 市内に障害のある人が暮らしやすい環境があると感じますか
4 子ども・教育 夢と思いやりの心を持ち、未来を拓く 子どもたちが育つまちを実現します	
政策1 子どもを産み・育てやすい環境を創る	市内に安心して出産・育児ができる環境があると感じますか
政策2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	子どもが市内の小中学校で充実した教育を受けられると感じますか
5 地域社会 多様性を力に、みんなでまちづくりを進める地域社会を実現します	
政策1 誰もが個性を活かし活躍できる環境を創る	市内に外国人と日本人がともに暮らしやすい環境があると感じますか 市内に男女共同参画の考え方が根付いていると感じますか
政策2 多様な主体の連携によるまちづくりを進める	市内に、地域で市民が学べる環境があると感じますか 地域や社会に役立つ活動をするに関心がありますか この1年間に地域や社会に役立つ活動に参加したことがありますか
6 文化芸術・スポーツ 市民の文化芸術・スポーツ活動が広がる、創造性豊かなまちを実現します	
政策1 文化芸術が生まれ、広がる環境を創る	市内に文化・芸術活動に親しめる環境があると感じますか
政策2 スポーツに親しむ環境を創る	市内でスポーツを楽しめる機会があると感じますか
7 都市・交通 市民の快適な暮らしと活発な交流を支える、魅力と愛着が感じられる都市を実現します	
政策1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める	市内に魅力的なまちがあると感じますか
政策2 都市の力を底上げするネットワークを整備する	市内の公共交通が便利だと感じますか 市内の道路は移動がしやすいと感じますか
政策3 まちの発展にテクノロジーを活かす	→市内でのデジタル化の活用に関する設問を追加
政策4 暮らしを支える基盤を創る	市内に魅力的なまちがあると感じますか
8 地域経済 地域経済を支える産業や人材が育ち、新たな価値が生まれるまちを実現します	
政策1 地域の産業を支え・育てる	市内に市民が充実して働ける環境があると感じますか
政策2 観光の振興とMICEの推進によりまちの魅力を高める	市内に魅力的なまちがあると感じますか
政策3 農林業の持続的な発展を支える	市内に農業・農村に親しめる環境があると感じますか

政策評価のサイクル

- 第1次実施計画（R5～R7）終了後、翌年度に行政活動実績評価と市民アンケートを実施し、翌々年度に審議会を経て、政策評価を決定。
（第2次、第3次実施計画も同様）
- 客観指標については、毎年度実績を把握し、地方創生部会にて報告予定。

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
評価等				中間評価			中間評価			最終評価	
				・行政活動 実績評価 ・市民アンケート	・審議会 ・政策評価 決定、公表		・行政活動 実績評価 ・市民アンケート	・審議会 ・政策評価 決定、公表		・行政活動 実績評価 ・市民アンケート	・審議会 ・政策評価 決定、公表
計画	千葉市基本計画（R5～R14）										
	第1次実施計画			第2次実施計画			第3次実施計画				

政策評価の見直しポイント（新旧比較）

段階	旧計画	新計画
評価単位	・ 19の施策の柱単位	・ 23の政策単位
評価時期	・ 実施計画終了時	・ 実施計画終了時
STEP 1 行政活動実績評価	・ 136指標	・ 189指標 (基本目標40、KPI149) ・ 事業主体の意見及び人流データを踏まえた評価
STEP 2 アンケート指標の 分析・考察	・ 生活実感指標19、行動指標2 による評価	・ 生活実感指標20、行動指標2 による評価 (デジタルに関する設問の追加) ・ アンケート指標を23の政策に 振り分け
STEP 3 政策評価	・ 客観指標・生活実感指標・行動指 標を関連付けて、実施計画事業等 を含め総合的に分析・考察 ・ 分析・考察から得られる市の取組 身の課題を抽出	・ 客観指標・生活実感指標・行動指 標を関連付けて、実施計画事業等 を含め総合的に分析・考察 ・ 分析・考察から得られる市の取組 身の課題を抽出